

小学校の学習は社会人として、将来自立するための基礎となる大切なものです。学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えます。よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きを親子で一緒に読み、ご活用いただければ幸いです。

＜家庭学習の意義＞

○自ら学ぶ習慣を身につける

○学習内容の定着を図る

○がまん強さ・根気・集中力をつける

1 お子さんの学習のために

(1) 生活リズムを整えましょう。



- ・早寝・早起き・朝ごはん・食べたらはみがき・すっきりうんち
- ・学習を始める時刻を決めましょう。
- ・テレビやゲーム、パソコンの時間を決める。学習を始めるときはテレビを消しましょう。
- ・次の日の用意、鉛筆を削り、ふでばこの中身をそろえましょう。

(2) お子さんと話をしましょう。



- ・夕食の時間はテレビを消し学校であったことや友だちの話など会話をしながら夕食を楽しみましょう。
- ・宿題の確認をしたり、見直したりする中でお子さんをほめる場面をたくさんつくりましょう。
- ・わからない問題があったら、教えるのではなく、一緒に考え、できたら一緒に喜んであげましょう。

(3) 学習環境を整える



- ・テレビ、ゲームは消し、机の上は学習に必要な物だけ置きましよう。
- ・お子さんだけにせず、お家の方が一緒に見てあげられる環境をつくりましよう。
- ・本や新聞、地図や地球儀を身近に置き、おうちの人と一緒に調べられる環境を作りましよう。(パソコンによる調べ学習はおうちの人了解を得てやるようにましよう。)

2 各学年のねらいと家庭学習の時間とポイント

1・2年（家庭学習時間 1年生 10～20分

2年生 20～30分）

毎日、宿題に取り組む習慣を身につけましよう。

- ・基本的な学習習慣を身につけましよう。正しい姿勢で座る。鉛筆を正しく持つ。身の回りを片付ける。
- ・具体物を使う、体験する、繰り返すことで力が付く内容が多くあります。
- ・宿題の答え合わせや確認をしていただきながら「ここがんばったね」「よくできたね」とほめてあげましよう。
- ・つまずいているときには、共に考えてあげたり、音読などに耳を傾けたりしてあげましよう。
- ・明日の準備などを一緒に確かめるようにましよう。

3・4年（家庭学習時間 30～40分）

自分から学習に向かう習慣を身につけましよう。

- ・社会や理科など新しい学習が始まり、学習内容もひろがります。
- ・教科の得意・苦手を意識するようになります。人と比べるのではなく、本人のがんばりを見つけてほめましよう。
- ・宿題の点検を続けましよう。
- ・本や社会の出来事を話題にする機会を作りましよう。

5・6年（家庭学習時間 50～60分）

宿題に加え、自主学習を工夫しながら進める習慣を身につけましよう。

- ・学習内容が多くなり、筋道を立てて考える力や抽象的に考える力、広い視野が求められるようになります。
- ・学習の目標を決めて、努力させ、ほめたり、励ましたりしながら自信とやる気を持たせることを大切にましよう。
- ・「もっと知りたい」「もっと調べたい」など関心意欲につながるような態度を育てていこましよう。
- ・子どもの将来の夢や希望、勉強の目的や内容、学校の様子やニュースなどを話題にしながら、お子さんと語り合いましよう。